

背景・理由

- 船陸間通信インフラとして利用されている衛星通信においては、費用や通信状況など多くの課題がある。
- 2023年以降にサービス開始が予定されている低軌道衛星通信は、従来の衛星通信より安価かつ高速通信が可能となり、海上での船陸間通信環境改善に期待されている。

実施内容・結果

ルータ及びタブレットを用いて陸上からの電波を利用することで、通信費を抑え、如何に内航船舶で通信が可能かを検証。

(1) 外部アンテナ対応ルータ

陸から遠い場所では、速度が良好であった。

(2) マルチSIMルータ

SIMが2枚搭載されており、2倍近い速度が期待されたが、そこまでの速度は出ていない。

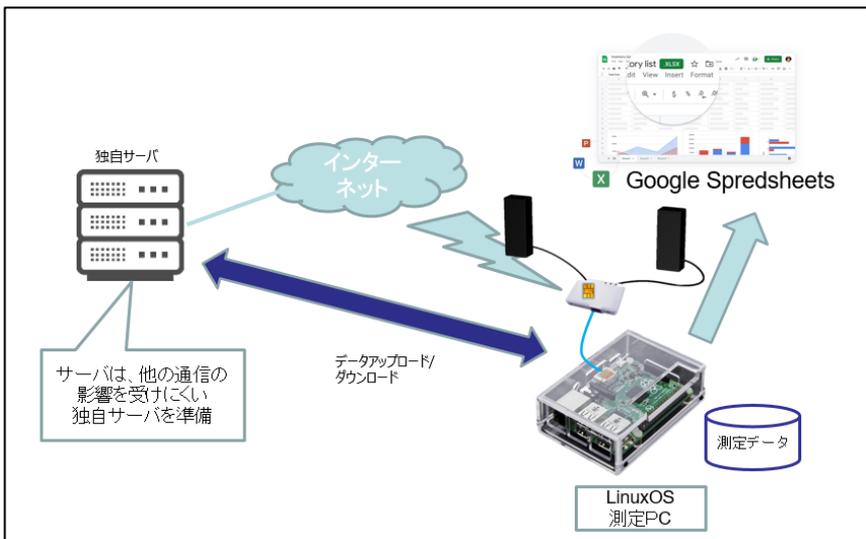
(3) 内蔵アンテナ搭載ルータ

陸に近い電波強度の強いエリアでは、速度が出ていた。

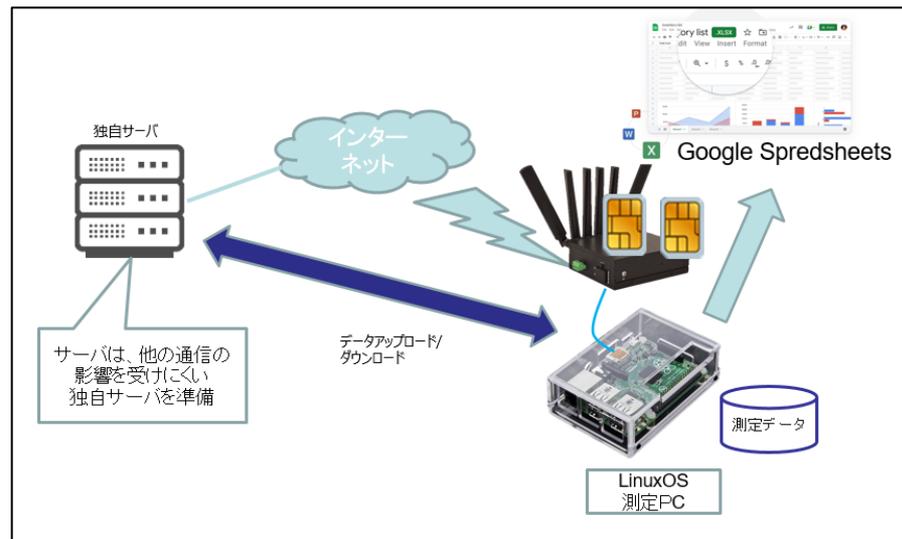
(4) LTE通信タブレット

接続性は良くないが、強電界では比較的高速な通信が可能となっている。

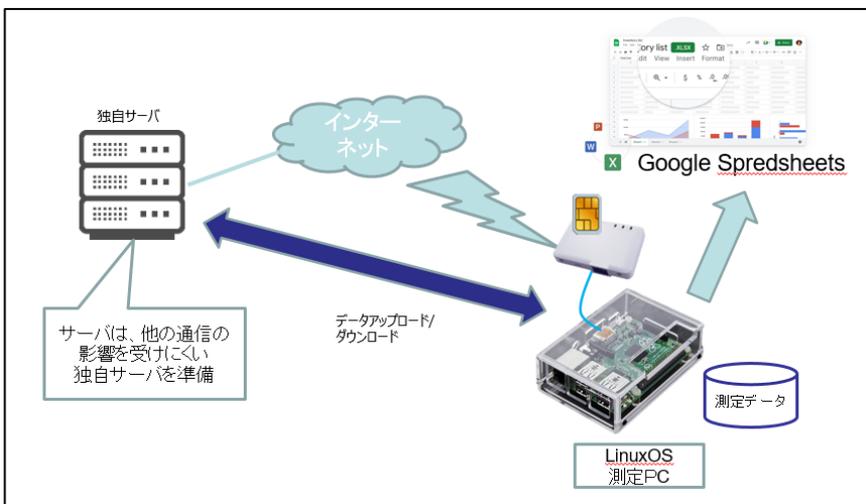
船舶の向きに関して影響があった。



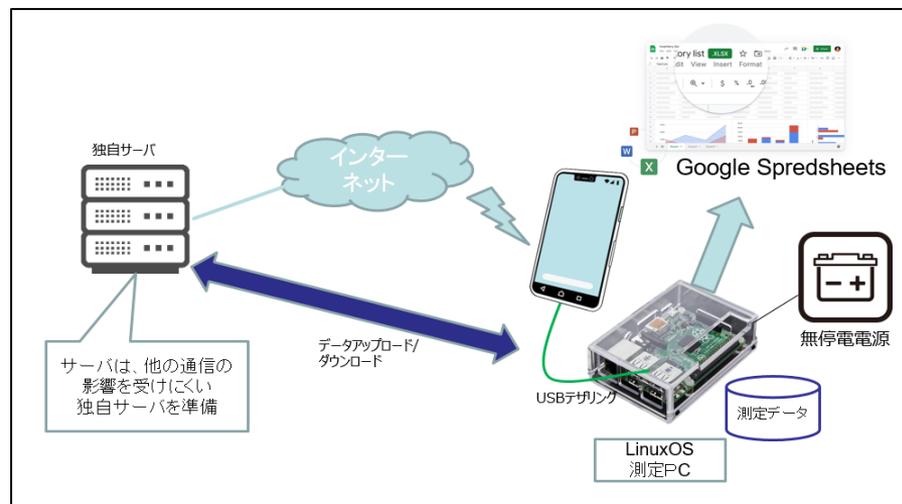
(1) 外部アンテナ対応ルータ



(2) マルチSIMルータ



(3) 内蔵アンテナ搭載ルータ



(4) LTE通信タブレット